

# 入曽地区中学校統廃合説明会報告

【対象：南小学校保護者 H25.3月時点】

- 1 開催日時  
平成 25 年 4 月 13 日（土） 午後 2 時～午後 4 時
- 2 開催場所  
入曽公民館 3 階ホール
- 3 参加人数  
36 人
- 4 市職員（計 5 名）  
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校教育参事兼教育指導課長、  
学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主査
- 5 配布資料
  - ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について
  - ◆ 統合後の生徒数・学級数推計表
  - ◆ 統合後の通学区域図

## ——— 主な質疑応答及び意見要望 ———

### 学区や通学路に関すること

- Q 山王中学校区となる線路東側の区域については、入間野中学校への通学も可能とするとあるが、今後未来永劫どちらでも選べるということか。
- A 期限は区切らない形で特別許可地区として設ける予定ですが、市内全体で生徒数が減少するなか、今後、入曽地区にとどまらず市全体の通学区の見直しが図られる場合は、併せて見直されることになると思います。
- Q 市全体の通学区の見直しというのは、いつ頃行う予定なのか。
- A それは分かりませんが、統合後すぐに行うということはありません。
- Q 線路東側の区域に住む子ども達が全員入間野中を選択した場合でも、入間野中の受け入れが可能なのであれば、なぜ通学区を分けたのか。
- A 山王中も適正規模を確保することで、入曽地区全体の生徒数のバランスをとりたいということです。

Q 全員が入間野中を選択した場合、結局、抽選などになってしまって漏れたら山王中というようにもありうるのか。

A そういうことはありません。

Q 山王中が適正規模にならないから、やっぱり入間野中は選べませんといったように途中で方針が変わることもありうるのか。

A そういうことはありません。

Q 今回の学区は、通学路の危険箇所を把握しないまま決めたのか。

A 学区部会の委員自ら実際に登校時に通学路を歩きましたが、今後は下校時も歩くなどして、さらなる危険箇所の把握に努めたいと考えています。

Q 自転車通学は認められないのか。

A 自転車通学は校長先生の権限によるところですが、保護者の代表者や校長先生が参加する検討協議会で協議をしたいと考えています。

- ◆ 入間野中と山王中の人数のバランスを考えれば、線路で区切るよりも、もう少し線路より西側の位置で区切った方がよかったのではないかと。

### **制服に関すること**

Q 制服は、統合先の中学校に行っても入間中の制服を着ていていいのか、それとも新たに購入してもらえるのか。

A 制服などについては、統合先の中学校に行っても入間中の指定のものをそのまま継続して着用していただくとか、来年入間中に入学する生徒については、統合先の中学校の制服を購入していただくなどといったことも考えられますが、いずれにしても保護者の皆様の意向を踏まえたうえで決めたいと考えています。

Q 制服の取り扱いは、いつ頃決まるのか。

A 制服を購入する時期の秋頃までには決めなければいけないと考えています。

- ◆ 入間中は学ランなので、進学した高校も学ランならボタンだけ取り換えればそのまま着られるが、入間野中は紺色のブレザーなので、一年間だけ着て終わりになるとすれば経済的にどうかと思う。

- ◆ 制服に限らず体操着やジャージも新しい中学校のものに全て買い替えとなると相当な額になるので、入間中のものをそのまま使えるようにした方がいいのではないかと。

- ◆ 同じ学校なのに、お互い違う制服で修学旅行に行ったり、卒業アルバムを作ったりというのはおかしいと思う。
- ◆ 統合まで2年間しかない現時点において、制服などの扱いすら決めていないというのは遅いと思うし、皆さんの意見を聴きながら決めていきたいとのことだが、早く決めてもらった方が保護者としては安心できる。
- ◆ 一年間しか通わないのであれば、無理に制服ということではなく私服で通わせるという方法もあるのではないか。

### 情報の周知やアンケートに関すること

Q 親として今回の統廃合を子どもに説明するにあたり、子どもでも理解できるようなパンフレットのようなものを作ってほしい。

A 子どもの視点に立った資料の作成については、今後検討していきたいと思います。

Q 保護者アンケートの結果は、どういう形で反映されるのか。

A 通学路の安全対策や学校の施設整備などに関して、意見や要望をお伺いする予定ですが、対応できるものについては、可能な限り統廃合計画に反映させていきたいと考えています。

Q アンケートの対象は保護者だけで、子どもには取らないのか。

A 基本的には保護者の方々を対象とさせていただきますが、子どもの意見を聴かなければ回答できないものもあると思いますので、親子で話し合っただけで記入していただければと思っています。

- ◆ 今のうちから統合校のことを知っておきたいので、入間野中や山王中で毎月発行されている学校だよりなどを配布してほしい。
- ◆ パソコンを持っていない家庭もあるので、ホームページを見てくださいだけでなく、配布や回覧もしてほしい。
- ◆ 南小の意見箱は、事務室の前ではなく、もっと保護者にわかりやすい場所に置いてほしい。
- ◆ アンケートは、入間野中や山王中はこんな学校ですといったものをまず示していただき、そのうえで記入できるような形にしてほしい。
- ◆ アンケートだけでは一方的になりがちで、市に対する不信感や怒りが募るだけだと思うので、今日の説明会のように、保護者の生の声を聴きながら、お互いに意見を出し合っただけで納得しながら進めていけるような機会を多く設けてほしい。

## その他

Q 受験を控えた時期に中学校が変わることについては、親も子どももナーバスにならないかを、そのあたりの対応はどう考えているのか。

A 教職員の体制といったソフト面は、とくにきめ細やかな対応が大事になってくると思いますので、こまめに学校現場に足を運びながら、統合を円滑に進めるための助言や進言を行っていきたいと考えています。

Q 統廃合で精神的にダメージを受けた子どもに対するケアは、どう考えているのか。

A スクールカウンセラーについては今後の課題とっていますが、統合先の中学校については、臨時教員を増やすなどして対応していきたいと考えています。

Q 臨時教員の増員については、期間が決められているのか。

A 例えば統合後3年間といった期限を区切った形で考えています。

Q 平成26年3月議会の統廃合の議決を待たず、今からでも3校間で事前交流を進めた方がいいのではないかと考えています。

A なるべく早いうちから事前交流事業が実施できればいいと考えています。

Q 入間中は今後新入生をとらないようにして、来年から入間野中に入学させてほしい。

A 入間中に新入生が入らなくなった場合、必要な教員数を確保できない、先輩後輩の関係性が築けないなど、学校運営や教育環境において支障が生じることが懸念されますので、そのような形は考えていません。

Q 統廃合に伴って新しい学校づくりを目指すというが、どの程度の新しさを求めているのか。

A カリキュラムを新しくしたり、新しい部活をつくったりということが挙げられると思います。

Q 統廃合計画は、小学校の時のように、保護者の意見要望に対して、できることとできないことを逐一回答するような形で示していくのか。

A どのような形で統廃合計画を作成するかは未だ決めていませんが、いずれにしましても、小学校の時と同様、通学路や学校の設備などについて意見や要望をお伺いし、それらを踏まえたうえで計画づくりを進めていきたいと考えています。

Q 入間小から南小に移った時、入間小の先生があまり配属されていなくてがっかりした経験があるので、今回はそういうことのないように、人事権を持つ県の教育委員会

に掛け合ってほしい。

A あくまで教職員の人事権は県の教育委員会にあります。小学校の統廃合の時と同様、教職員配置について配慮していただきたい旨要望いたします。

- ◆ 二度統廃合を経験させることについては、親として子どもに説明できないし、市は嘘をついたのだから謝罪文を出すべきだ。
- ◆ 入間野中を選択する子どもが多い場合、山王中は小規模校のまま変わらないので、2校を適正規模になるために統廃合するという説明は通用しなくなる。
- ◆ 今の子ども達の状況を知らない人たちも委員になっている検討協議会では話し合いになっていないので、第三者委員会のような組織を設けるべきだ。
- ◆ 教育委員会の人学校の中に入ってもらって、現場の状況を把握したうえで学校間のすり合わせをしてもらわなければ、実際に被害を受ける子を持つ親としては納得できない。
- ◆ 学年の途中で学校を移されるくらいなら、下級生がいない状況の方がまだマシだ。
- ◆ 下級生がいない中で学校生活を送るというのも一つの経験だと思うし、新入生は入れられないということをしっかり説明してもらえれば、子ども達も納得すると思う。
- ◆ 小学校の統廃合を機に踏切に立ってもらっていた警備員の人数が、今年度から減ってしまったが、統廃合の影響は1、2年経てばなくなるというものではない。
- ◆ 統合先の中学校では、入間中の先生を入れず、統合先の中学校の先生も残さず、全員新しい人に入れ替えれば、依怙臆もなく良いのではないか。
- ◆ 入間野中や山王中を見学する機会を子どもに与えてほしい。
- ◆ 2年後に統廃合したら終わりではなく、その後の検証やフォローもしっかり行ってほしい。